



THE PARK FRONT HOTEL

AT UNIVERSAL STUDIOS JAPAN

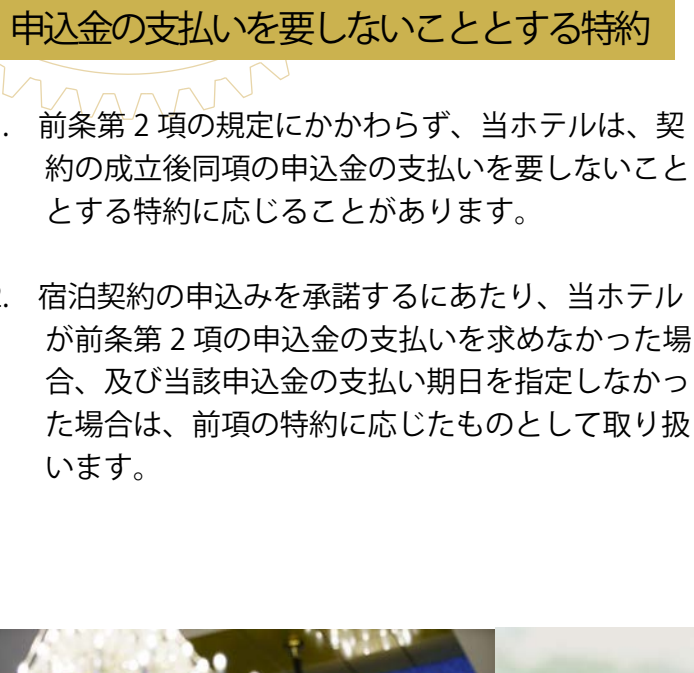
ACCOMMODATION CONTRACT
TERMS AND CONDITIONS

第 1 条 適用範囲

- 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるとおりによるものとし、この契約に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとする。
- 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約は優先するものとする。

第 2 条 宿泊契約の申込み

- 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする方は、次の事項を当ホテルにお申し出いただきます。
 - 宿泊者名及び宿泊人数
 - 宿泊日及び到着予定時刻
 - 宿泊料金
(原則として別表第 1 の基本宿泊料による)
 - a. 申込者名及びその連絡先
b. 宿泊料金の支拂者名及びその連絡先
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が、宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

Article 1
Scope of Application

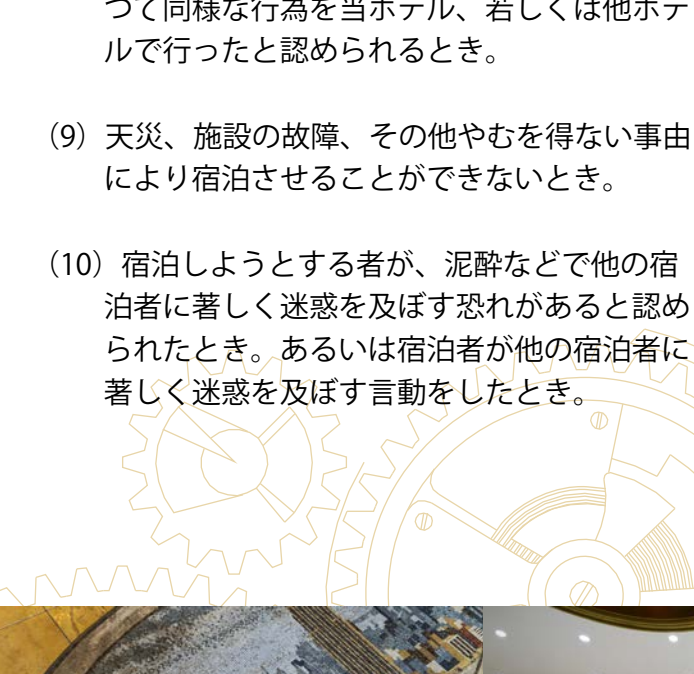
- For contracts for accommodation and related agreements to be concluded between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to the terms and conditions of this Accommodation Contract. Any matters not stipulated herein shall be governed by and construed in accordance with laws and regulations and/or generally accepted practices.
- Notwithstanding the provision of the preceding paragraph, in the case where the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate the laws and regulations and generally accepted practices, the special contract shall have precedence over this Accommodation Contract.

Article 2
Application for Accommodation Contracts

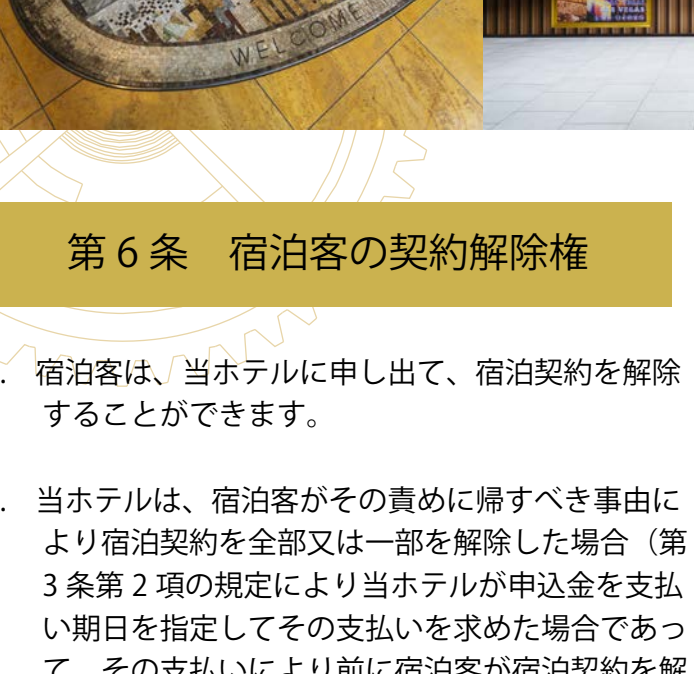
- A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - name and number of the Guests(s);
 - dates of accommodation and estimated time of arrival;
 - accommodation charges (originally based on the basic accommodation charges listed in the Attached Table No. 1.);
 - a. name of applicant and the contact information; b. name of payer of accommodation charges and the contact information; and
 - Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- If the Guest requests, during his/her stay, extension of the accommodation beyond the dates specified in subparagraph (2) of the preceding paragraph, the Hotel shall deal with it as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Article 3
Conclusion of Accommodation Contract

- The Accommodation Contract shall be deemed to have concluded when the Hotel has duly accepted the application described in the preceding article, provided, however, that the same shall not apply where the Hotel proves that it has not accepted the application.
- When the Accommodation Contract has been concluded in accordance with the provisions in the preceding paragraph, the Guest shall pay, on or before the date designated by the Hotel, a specified amount not exceeding the Basic Accommodation Charges for the expected period of stay (three days when the period stay exceeds three days).
- The deposit shall be first used for the total Accommodation Charges to be paid by the Guest. When such situations occur as the provisions of Article 6 and Article 18 are applicable, the deposit shall be used for the cancellation charges, secondly and for the reparations thirdly. And the remainder, if any, shall be refunded at the time of payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.
- When the Guest has failed to pay the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the date designated by the Hotel according to the provisions of the same paragraph, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the deadline of the deposit payment is specified.

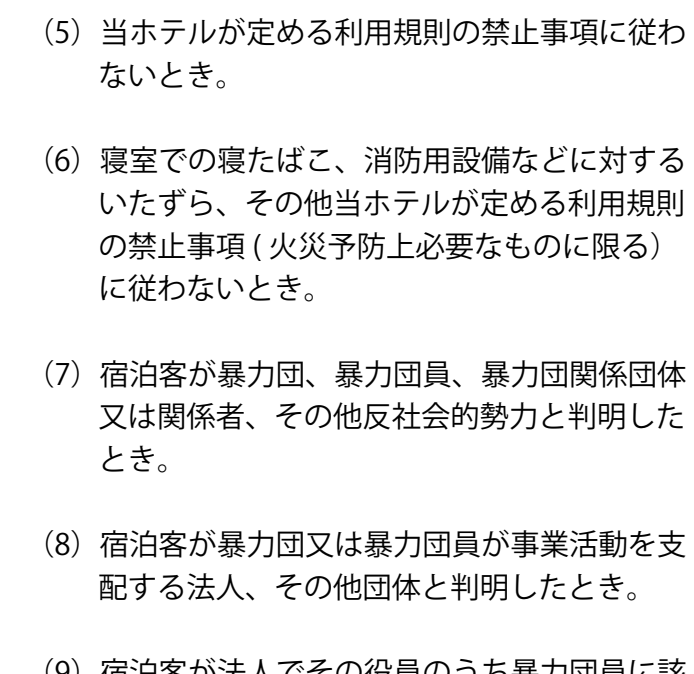
Article 4
Special Contracts Requiring
No Accommodation Deposit

- Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract not requiring the accommodation deposit stipulated in the same paragraph, after the Contract has been concluded.
- In the case where the Hotel has not requested the payment of the deposit stipulated in Paragraph 2 of the preceding article and/or the time specified the deadline of the deposit payment at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated such that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding paragraph.



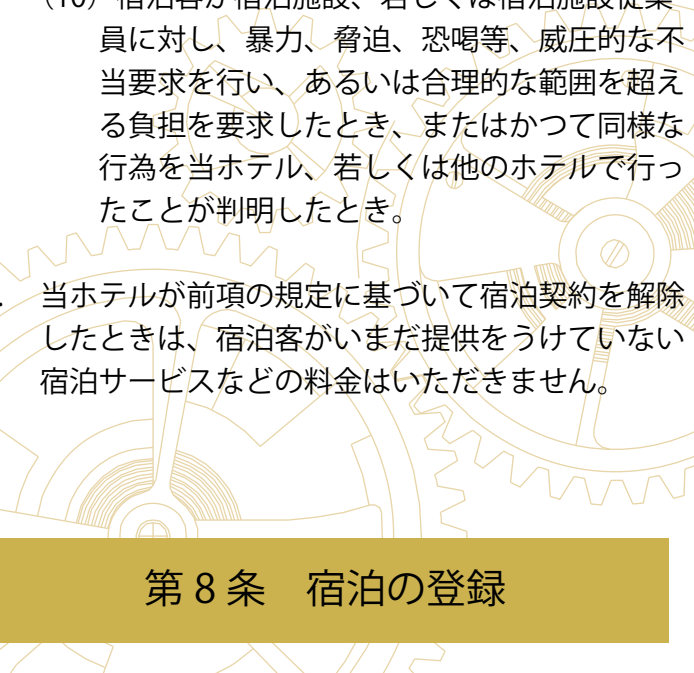
第 3 条 宿泊契約の成立等

- 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとする。ただし、当ホテルが承諾しなかったことを証明したときはこの限りではありません。
- 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込みを、当ホテルが指定する期日までに、お支払いいただきます。
- 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 6 条及び第 18 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順で充当し、残額があれば、第 12 条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 第 2 項の申込金を同額の規定により当ホテルが指定した日までに支払っていない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとする。ただし、申込金の支払い期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

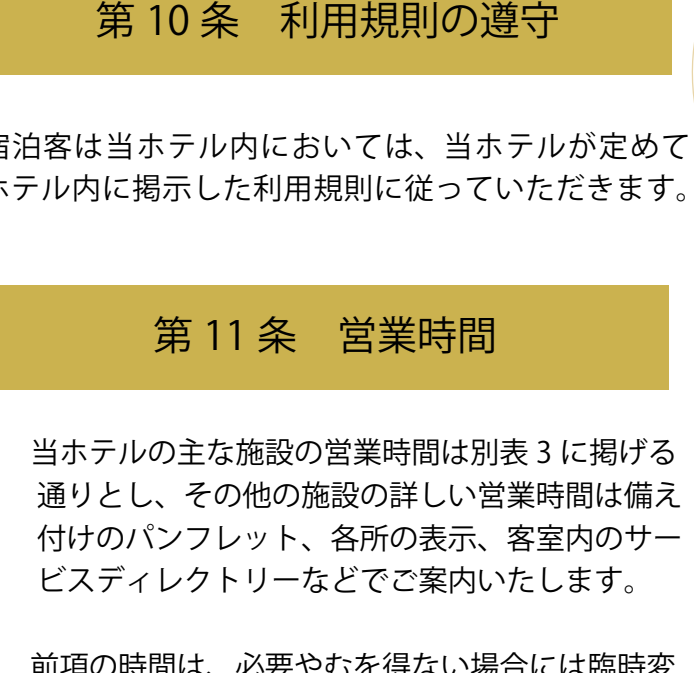
Article 5
Refusal of Accommodation Contract Conclusion

The Hotel may decline to conclude any Accommodation Contract in any of the following cases.

- when the application for accommodation is not made in accordance with the terms and conditions of this Accommodation Contract;
- when the Hotel is fully booked and no room is available;
- when the Guest wishing to stay at the Hotel is deemed liable to conduct him/herself in a manner that will violate applicable laws, or act against public order or good public morals with regard to accommodation;
- when the Guest wishing to stay at the Hotel is clearly identified as a carrier of an infectious disease;
- when the Guest wishing to stay at the Hotel is a organized crime group, a member thereof, a group affiliated with the organized crime group or an affiliate thereof, or other antisocial organization;
- when the Guest wishing to stay at the Hotel is a member of corporation or other body whose operations are controlled by a organized crime group or a member thereof;
- when the Guest wishing to stay at the Hotel is a corporation whose director corresponds to a member of a organized crime group;
- when the Guest wishing to stay at the Hotel makes a coercive and unreasonable demand using violence, threat, or extortion to the accommodation or employees of the accommodation, or demands burden beyond the reasonable range, or if it is observed that the relevant Guest performed the aforementioned act at the Hotel or another hotel before;
- when acts of God, failure of the facilities, or other unavoidable circumstances render the accommodation impossible; and
- when the Guest wishing to stay at the Hotel is deemed liable to conduct him/herself in a manner that will create a disturbance which annoys other Guests such as a drunkenness highly intoxicated, or when the Guest has performed an act or made remarks by which other Guests have been extremely inconvenienced.

第 4 条
申込金の支払いを要しないこととする特約

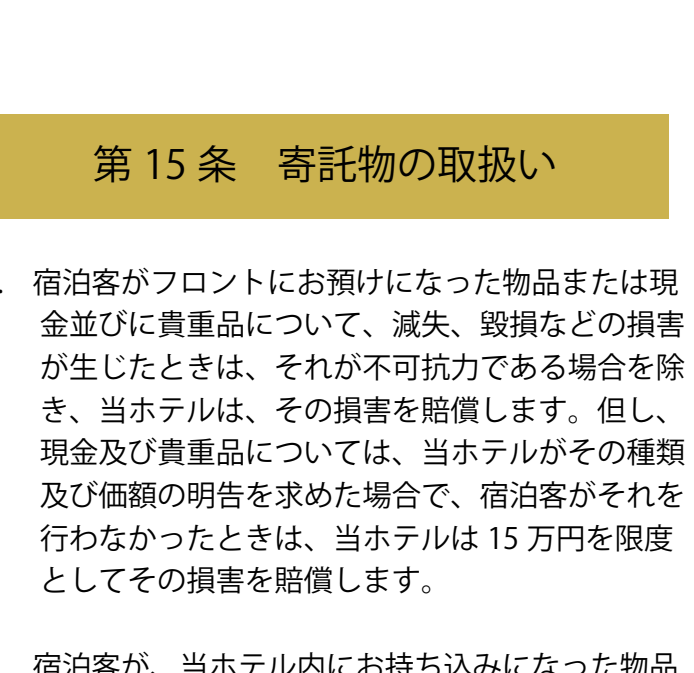
- 前条第 2 項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同額の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じる場合があります。
- 宿泊契約の申込みを承諾するにあたり、当ホテルが前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合、及び当該申込金の支払い期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。



第 5 条 宿泊契約締結の拒否

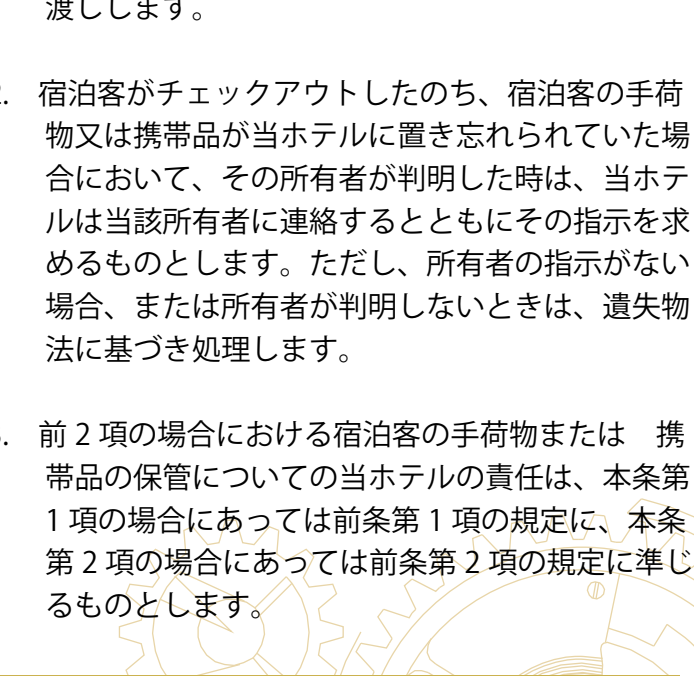
当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

- 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- 満室（員）により客室の余裕がないとき。
- 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき。
- 宿泊しようとする方が、感染症であると明らかに認められるとき。
- 宿泊しようとする者が暴力団、暴力団員、暴力団関係団体、又は関係者その他反社会的勢力であるとき。
- 宿泊しようとする者が暴力団、又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他の団体であるとき。
- 宿泊しようとする者が法人で、その役員のうち暴力団員に該当するとき。
- 宿泊しようとする者が宿泊施設、若しくは宿泊施設従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝等、威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求したとき、またはかつ同様な行為を当ホテル、若しくは他のホテルで行ったと認められるとき。
- 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- 宿泊しようとする者が、泥酔などで他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす恐れがあると認められるとき。あるいは宿泊客が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。



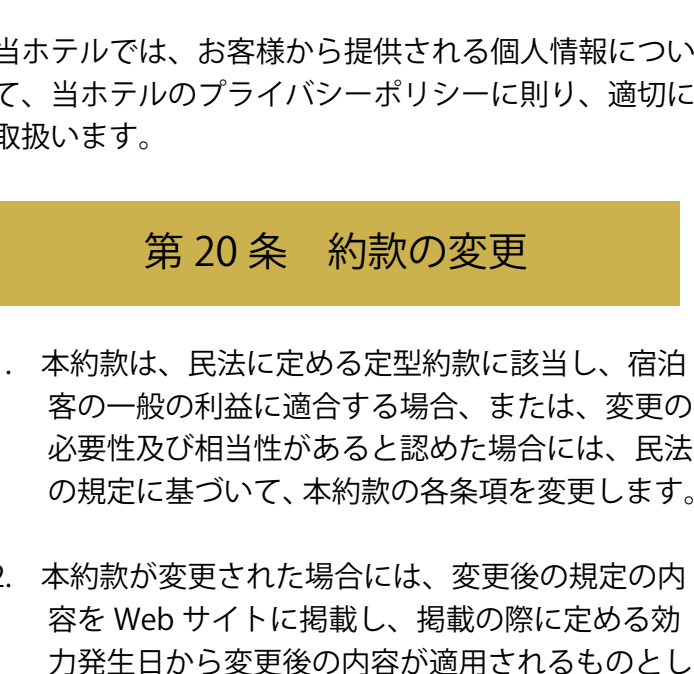
第 6 条 宿泊客の契約解除権

- 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 当ホテルは、宿泊客がそのために帰すべき事由により宿泊契約を全部又は一部を解除した場合（第 3 条第 2 項の規定により当ホテルが申込金を支払った日指定する日又はその支払期日）を解除した場合を除き、その支払済み前は、別表 2 に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが、第 4 条第 1 項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じたに於いて、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払い義務については、当ホテルが宿泊客に告知したとき限りです。
- 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後 8 時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を 2 時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし、処理することがあります。



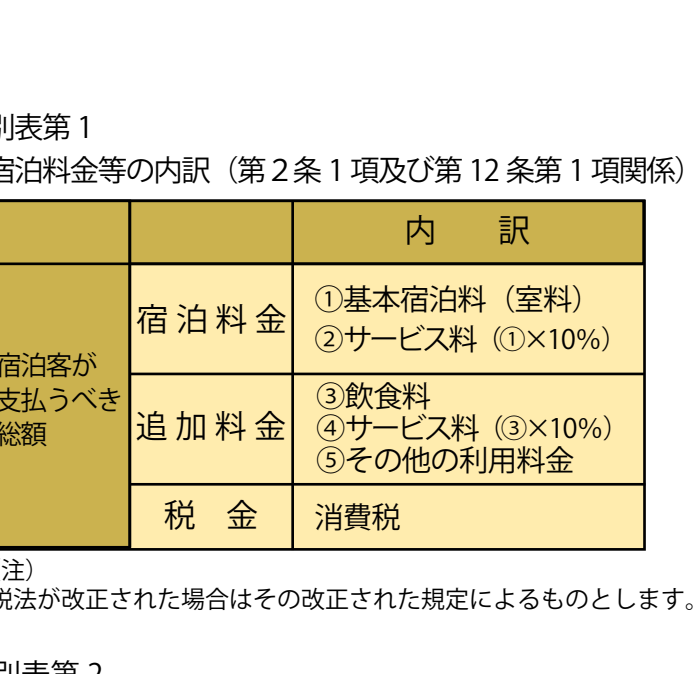
第 7 条 宿泊客の契約解除権

- 当ホテルは次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。
 - 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反するおそれがあると認められるとき、又は同行者をたどと認められるとき。
 - 宿泊客が感染症患者であると明らかに認められるとき。若しくはその他、感染にかんする恐れのある疾病にかかっているとき。
 - 天災など不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - 宿泊しようとする者が泥酔などにより、他の宿泊者に影響を及ぼすおそれがあると認められるとき。あるいは他の宿泊客が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - 当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
 - 喫煙の喫たばこ、消防用設備などを利用するに於いては、当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものを除く）に従わないとき。
 - 宿泊客が暴力団、暴力団員、暴力団関係団体又は関係者、その他反社会的勢力と判明したとき。
 - 宿泊客が暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体と判明したとき。
 - 宿泊客が法人でその役員のうち暴力団員に該当する者と判明したとき。
 - 宿泊客が宿泊施設、若しくは宿泊施設従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝等、威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求したとき、またはかつ同様な行為を当ホテル、若しくは他のホテルで行ったと認められるとき。
- 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、当ホテルがまだ提供をうけていない宿泊サービスなどの料金はいただけません。



第 8 条 宿泊の登録

- 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - 日本国内に住所を持たない外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日（パスポートのコピー）
 - 出発日及び出発予定時刻
 - その他当ホテルが必要と認める事項



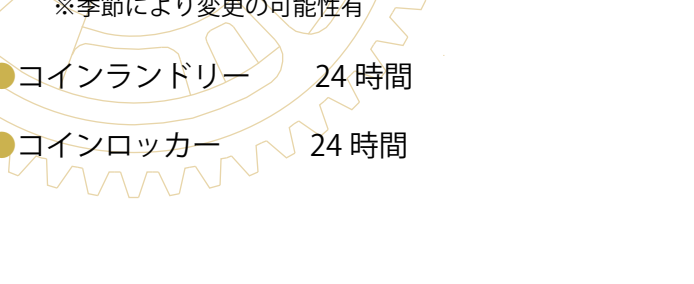
第 9 条 客室の使用時間

- 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後 3 時から翌日の正午までです。ただし、連続して宿泊する場合において、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に際する場合があります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - 超過 3 時間までは、室料金の 30%
 - 超過 3 時間以上は、室料金の 100%



第 10 条 利用規則の遵守

宿泊客は当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。



第 11 条 営業時間

- 当ホテルの主な施設の営業時間は別表 3 に掲げる通りとし、その他の施設の詳しい営業時間は備え付けのパンフレット、各所の表示、客室内のサービスディレクトリーなどでご案内いたします。
- 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時変更することがあります。その場合には適当な方法をもってお知らせします。

第 12 条 料金の支払い

- 宿泊客が支払うべき宿泊料金などの内訳は、別表 1 に掲げるところによります。
- 前項の宿泊料金の支払い、日本国通貨又は当ホテルが認めた旅行の切手、宿泊券、クレジットカードなど、これに代りうる方法により、ご到着時、フロントにお支払い行っていただきます。
- 当ホテルが、宿泊客に提供し、使用がなかったもの、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第 13 条 当ホテルの責任

当ホテルは、宿泊契約及びこれに関する契約の履行に当たり、又はそれの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではございません。

第 14 条
契約した客室の提供ができないときの取扱い

- 当ホテルで、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できるだけ同一の条件による他の宿泊施設を提供するものとする。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の客室が、前項の規定には、適切な相応の補償を宿泊客に支払い、掲載の際に定める効力を発生してから変更後の内容が適用されるものとなります。尚、本約款を変更する場合には、変更内容などを記載した書面またはテレビ内のインフォメーション等適切な方法にて周知します。

第 15 条 寄託物の取扱い

- 宿泊客がフロントにお預けになった物品または現金並び貴重品については、滅失、毀損などの損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償しません。但し、現金及び貴重品については、当ホテルの種類及び価額の貴重品を求めるときは、宿泊客が行った行為が原因となるときは、当ホテルは 15 万円を限度としてその損害を賠償します。
- 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品で、フロントにお預けになったものについては、当ホテルの故意または過失により滅失、毀損などの損害が生じた場合は、当ホテルは賠償いたしません。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明瞭な申告をしたものについては、15 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。尚、客室内のセルフサービスのみで利用したくものとし、当ホテルの故意または過失により滅失、毀損などの損害が生じた場合以外、当ホテルは一切の賠償をいたしません。

第 16 条 宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

- 宿泊客の手荷物が宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したとき限り責任を持って保管します。手荷物は、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。
- 宿泊客がチェックアウトしたとき、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れた場合において、その所有者が判明した時は、当ホテルは、その所有者に連絡するとともにその指示を求めるとし、所有者の指示がないときは、遺失物法に基づき処理をします。
- 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物または携帯品の保管については当ホテルの責任は、本条第 1 項の場合にあつては前条第 1 項の規定に、本条第 2 項の場合にあつては前条第 2 項の規定に準ずるものとする。

第 17 条 駐車場の責任

宿泊客が当ホテルの駐車場をに利用する場合、車庫のお借りするものであつて、駐車場の管理に当たり、当ホテルの責任は、限ります。ただし、所有者の指示がないときは、遺失物法に基づき処理をします。

第 18 条 宿泊客の責任

宿泊客の故意または過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

第 19 条 個人情報の取扱い

当ホテルでは、お客様から提供される個人情報について、当ホテルのプライバシーポリシーに則り、適切に取扱いいたします。

第 20 条 約款の変更

- 本約款は、民法に定める定型約款に該当し、宿泊客の一般の利益に適合する場合、または、変更の必要性が相当と認められる場合は、民法の規定に基づいて、本約款の各条項を変更いたします。
- 本約款が変更された場合には、変更後の規定の内容を発生日から変更後の内容が適用されるものとします。尚、本約款を変更する場合には、変更内容などを記載した書面またはテレビ内のインフォメーション等適切な方法にて周知します。

別表第 1 宿泊料金等の内訳（第 2 条 1 項及び第 12 条第 1 項関係）

宿泊客が支払うべき総額	内 訳	
	宿泊料金	税金
追加料金	①基本宿泊料（室料）	消費税
	②サービス料 (①×10%)	
税金	③飲食料	消費税
	④サービス料 (③×10%)	
	⑤その他の利用料金	

(注) 税込が改正された場合はその改正された規定によるものとします。

別表第 2 違約金（第 6 条第 2 項関係）

一般	不泊 当日				
	1~14 日まで	100%	80%	20%	-
団体	15~99 日まで	100%	80%	20%	10%
	100 人以上	100%	100%	80%	20%

(注) ①は基本宿泊料に対する違約金の比率です。

②は予約日数が短縮された場合は、その短縮日数にかかわらず、1 日分（初日）の違約金を収めます。

③は 15 名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊料の 10 日前（その日より後）に申込みをおこなった場合、その日における宿泊料金の 10%（増減がなかった場合には上り下り）にあたる人数については、違約金をいたしません。

別表第 3 営業時間

- レストラン「アフタースタッフ」(Akala (アーカラ))
 - <ご朝食> 7:00 ~ 10:00 (L.O.9:30)
 - <アフタースタッフ> 13:00 ~ 16:00 (L.O.15:30)
 - <ご夕食> 17:30 ~ 21:30 (L.O.21:00)
- 「O'ahu (オアフ)」不定期
- 宅配受付カウンター 9:00 ~ 13:00
※13:00 以降はベルデスクにて着払いのみ受付
- チケットカウンター 7:00 ~ 21:00
※季節により変更の可能性有
- コインランドリー 24 時間
- コインロッカー 24 時間

Article 6
Right to Cancel
Accommodation Contracts by the Guest

- The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.
- In the case where the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case where the Guest has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Article 3, Paragraph 2, and the Guest has cancelled the Accommodation Contract before the payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case where the Hotel has accepted the conclusion of a special contract as prescribed in Article 4, Paragraph 1, the same shall apply only when the Guest is informed, at the time of conclusion of the special contract, of the obligation of payment of the cancellation charges by cancellation of the Guest.
- In the case where the Guest does not arrive at the Hotel by 8:00 p.m. on the expected accommodation (or in two hours after the expected arrival time notified by the Guest in advance) without an advance notice, the Hotel may regard and handle the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Article 7
Right to Cancel
Accommodation Contracts by the Hotel

- The Hotel may cancel the Accommodation Contract in any of the following cases:
 - when the Guest is deemed liable to conduct him/herself in a manner that will violate applicable laws, or act against public order or good public morals with regard to accommodation, or when it is observed that the Guest actually performed such act;
 - when the Guest is clearly identified as a patient of an infectious disease, or is carrying a disease that may adversely affect the human body by infection;
 - when unavoidable circumstances due to acts of God or others render the accommodation impossible;
 - when the Guest is deemed liable to conduct him/herself in a manner that will create a disturbance which annoys other Guests such as a drunkenness, or when the Guest has performed an act or made remarks by which other Guests have been extremely inconvenienced;
 - when the Guest does not observe the prohibited activities prescribed in the Hotel Regulations;
 - when the Guest does not observe the prohibited activities (limited to conducts necessary for fire prevention) prescribed in the Hotel Regulations, such as smoking in bed, mischievous use of fire extinguishers, or other actions;
 - when it is found that the Guest is a organized crime group, a member thereof, a group affiliated with the organized crime group or an affiliate thereof, or other antisocial organization;
 - when it is found that the Guest is a member of corporation or other body whose operations are controlled by the organized crime group or a member thereof;
 - when it is found that the Guest is a corporation whose director corresponds to a member of the organized crime group; and
 - when the Guest makes a coercive and unreasonable demand using violence, threat, or extortion to the accommodation or employees of the accommodation, or demands burden beyond the reasonable range, or if it is observed that the relevant Guest performed the aforementioned act at the Hotel or another hotel before.
- When the Hotel cancels the Accommodation Contract based on the provisions in the preceding paragraph, the Hotel shall not charge the Guest for any accommodation services not yet rendered.

Article 8
Registration of Accommodation

- The Guest shall register the following information at the Front Desk of the Hotel on the first day of accommodation:
 - name, age, sex, address and occupation of the Guest;
 - if the Guest is not a Japanese citizen, his/her nationality, passport number, point of entry into Japan, and date of entry (his/her passport is copied);
 - expected date and time of departure; and
 - other particulars deemed necessary by the Hotel.
- If the Guest chooses to pay the fees described in Article 12 by means other than the Japanese currency, such as traveler's checks, accommodation coupons, or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration described in the preceding paragraph.

Article 9
Occupancy Hours of Guest Rooms

- The Guest is entitled to occupy the guest room of the Hotel from 3 p.m. on the arrival date to 12:00 (noon) on the following date. In case of a continuous accommodation, the Guest may occupy the room all day long except for the date of arrival and the date of departure.
- Notwithstanding the provision in the preceding paragraph, the Hotel may permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in same paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
 - Overtime of up to 3 hours: 30% of the room charge
 - Overtime of more than 3 hours: 100% of the room charge

Article 10
Compliance with Hotel Regulations

Within the premises of the Hotel, the Guest shall comply with the Hotel Regulations prescribed by and posted in the Hotel.

Article 11
Business Hours

- Business hours of the main facilities in the Hotel are as shown in the Attached Table No. 3. For details on the business hours of other facilities, please refer to the brochures available at the Hotel, notices displayed at each venue, and the service directory provided in each guest room.
- The business hours referred to in the preceding paragraph shall be subject to change on a temporary basis due to unavoidable circumstances. In this case, the Hotel shall inform the same to the Guests in a proper manner.

Article 12
Payment of Accommodation Charges

- A breakdown of accommodation charges and other fees the Guest should pay shall be as shown in the Attached Table No. 1.
- Payment of the accommodation charges and other fees as described in the preceding paragraph may be made at the Front Desk in the Japanese currency or such other forms of payment as are recognized by the Hotel, including traveler's checks, accommodation coupons, and credit cards, on Guests' arrival at the Hotel.
- Even in the case where the Guest voluntarily chooses not to stay in the guest room after the Hotel has provided the Guest with access to the guest room, the Hotel shall nonetheless claim the accommodation charges from the Guest.

Article 13
Liability of the Hotel

If the Guest incurred damage arising from performance of the duties stipulated in the Accommodation Contract and related agreements, or due to nonperformance by the Hotel, the Hotel shall compensate the Guest for the damage, provided, however, that the same shall not apply to the cases where the Hotel is not liable for the relevant damage.

Article 14
Handling When Unable to Provide Contracted Rooms

- If the Hotel is unable to provide the Guest with the contracted guest room, the Hotel shall, upon obtaining of his/her consent, arrange other accommodation facilities to provide a guest room as close as possible to the originally agreed conditions.
- Notwithstanding the provision in the preceding paragraph, if the Hotel is unable to arrange an alternative accommodation, the Hotel shall pay the Guest compensation equivalent to the penalty, and the compensation shall apply to the damages. However, if the Hotel is not liable for the reason of such unavailability of the guest room, the Hotel shall not pay compensation.

Article 15
Handling of Deposited Articles

- When damage such as loss or breakage is caused to the goods, cash, or valuables deposited at the Front Desk by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest for the damage except for the case where this has occurred due to causes of force majeure. For cash and valuables, however, if the Guest has not reported its kind and value in spite of the Hotel asking to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of fifteen thousand (150,000) yen.
- For goods or cash and valuables that the Guest brought into the Hotel but did not deposit at the Front Desk, the Hotel shall not compensate the Guest for the damage, except for the case where damage such as loss or breakage was caused by intention or negligence of the Hotel. However, for the articles that the Guest has not reported the kind and value, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of fifteen thousand (150,000) yen. The safe deposit boxes in the guest rooms shall be used during the stay on Guests' responsibility, and the Hotel shall never compensate the Guest, except for the case where damage such as loss or breakage was caused by intention or negligence of the Hotel.

Article 16
Custody of Baggage/Belongings of Guest

- When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Guest shall be liable to keep it only in the case where such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the Front Desk at the time of his check-in.
- When the baggage or belongings of the Guest are found left after his check-out, and the Guest has identified him/herself, the Hotel will ask him instruction about what to do. However, when the Guest gives no instructions, or if the Hotel is unable to identify the owners of the relevant article, the Hotel shall handle the same based on the Lost Goods Act.
- For custody of Guests' baggage and belongings provided in the preceding Paragraph 1 and Paragraph 2, the Hotel's responsibility shall be subject to the provisions of Article 15, Paragraph 1, for the case of Paragraph 1 of this article, as well as to those of Article 15, Paragraph 2, for the case of Paragraph 2 of this article.

Article 17
Parking Lot Liability

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited at the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

Article 18
Liability of the Guest

The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Article 19
Handling of Personal Information

The Hotel shall handle personal information provided by Guests in appropriate manner in accordance with the Privacy Policy of the Hotel.

Article 20
Change of Accommodation Contract

- When the accommodation contract is applicable to the standard clause of civil law and suits the general interests of guests, or it is deemed necessary or appropriate to change it, the hotel shall change each clause of the agreement.
- When the accommodation contract is changed, the effective date shall be posted on the website and apply from the change date. Additionally, in the case of the changes of the accommodation contract, the hotel shall inform you in a proper method such as a document or hotel information on the TV.

Ref. Table No.1 Breakdown of Accommodation, etc.

(Ref. Article 2, Paragraph 1, and Article 12, Paragraph 1)

Total amount to be paid by the Guest	Details			
	Accommodation charges (room charges)	Extra charges	Taxes	Consumption Tax
	①Basic accommodation charges (room charges)	④Snack charge (3×10%) ⑤Other usage fees	③Service charge (③×10%)	②Consumption Tax